

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	市民農園に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	未利用区画の解消に向けた取り組みを検討する。また、8月末で廃止となる西佐津間市民農園の代替地を確保する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	引き続き環境整備に取り組み、利用者の利便性を向上させる。3月末に廃止となった南初富市民農園の代替地を検討する。
②①に基づく取り組み結果	環境整備等に取り組み、利用者の利便性の向上に取り組んだ。また、西佐津間市民農園の代替地を確保した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	野菜栽培を愛好する市民	意図(対象をどうするのか)	農業理解の契機とする。
②事務事業の概要	市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化が進む中で、農業と市民が触れ合う貴重な機会として需要があり、今後も継続して利用希望があると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	171区画中、146区画の農園貸付を行い、農業理解の契機とした。					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 市民農園の利用区画数	154	155	146	区画	業務取得
	ii 巡回時の農業士への相談件数	11	22	9	件	業務取得
iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	2,804	2,794	金額(千円)	内容	2,407	
国支出金(千円)			2,390	市民農園用地借		
県支出金(千円)			404	委託料		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	2,804	2,794			2,407	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	南初富市民農園の代替地を検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	市民が野菜等の栽培を通じて自然にふれあうとともに、農業に対する理解を深める場の提供となるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	令和2年度への繰越額(単位:千円)				

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	果樹剪定枝リサイクル事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	堆肥化以外の手法として、バイオマスへの活用について、検証を行う。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	バイオマス発電への活用について引き続き精査し、事業の移行についても検討を行う。
②①に基づく取り組み結果	回収した剪定枝の一部について、バイオマス発電への活用を試みたが、発酵状況により不益なものとなった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	果樹剪定枝等	意図(対象をどうするのか)	堆肥化
②事務事業の概要	果樹剪定枝等の回収を行い、剪定枝を原料とした堆肥を生産する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成26年度から「鎌ヶ谷市果樹剪定枝等リサイクル事業推進協議会」が当該事業を引き継ぎ、堆肥の販売を行うとともに、バイオマス発電への活用について検証する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	約255tの剪定枝量を回収し、そのうちの37tの堆肥化を進め、約218tをバイオマス発電に係る実証に用いた。また、市民向けに堆肥を約16.6t販売し、17,420円の販売収入を得た				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 梨剪定枝回収量	904	706	709	m3 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	8,924	10,535	金額(千円)	内容	10,569
国支出金(千円)			1,553	果樹剪定枝等堆	
県支出金(千円)			8,982	果樹剪定枝等リサ	
市債その他(千円)					
一般財源(千円)	8,924	10,535			10,569

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	堆肥保管量が年々増加しているため、保管スペースの確保が必要。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	今後も引き続き精査・検証等を行い、剪定枝等リサイクル事業を推進する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	借地料及び負担金	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
		計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	借地料及び負担金を支出	10,569	10,569	当初	10,569	10,535
				H30⇒R1繰越		
③達成状況	完了			補正		現年分
④未完了・非着手の理由		令和2年度への繰越額(単位:千円)				0
				流用・充当		

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	インターネット梨販売事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	6	1	3	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業振興課			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	坂居 由一			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	販売品種の拡大、ダイレクトメールの実施など、販売箱数増加に向けた取り組みを行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	前年度の箱数の増加を踏まえて今年度も販売品種を増やし、販売箱数の増加を目指す。
②①に基づく取り組み結果	販売箱数が250箱増と十分に効果が出てきている。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全国の人	意図(対象をどうするのか)	梨の販売
②事務事業の概要	全国に販路拡大をし、梨のインターネット販売を行う梨農家に対して、補助金を交付する。またPR等を継続して行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	令和2年度以降は、補助金がなくなるため自立した運営が必要になってくる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	梨のインターネット販売において、豊水・新高(5kg箱)及びかおり・あきづき(3kg箱)を合わせて1,550箱販売した。また、販売を促進するために、羽田空港やスカイツリー、等でPRイベントを開催した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	鎌ヶ谷産の梨のインターネット販売額	3,958	3,240	4,185	千円	業務取得
	ii	認定農業者数	53	55	55	人	業務取得
	iii	新規就農者数	3	2	0	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳			令和2年度予算	
事業費(千円)	4,190	4,215	金額(千円)	内容		4,648	
	国支出金(千円)	1,969	1,988	846	PRイベント業務委		
	県支出金(千円)			2,980	インターネット梨販売に		
	市債その他(千円)			380	需要費		2,000
	一般財源(千円)	2,221	2,227				2,648

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	事業者が自立して取り組むための体制を構築する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	来年度以降、事業者の自立を視野に、インターネット販売による販売品種等にかかる精査・検証を図る必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	補助金、ポスター作成等	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	補助金の交付、ポスター作成	4,632	4,632	当初	4,632	4,215	H30からの繰越	
				補正			現年分	4,215
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		令和2年度への繰越額(単位:千円)						
		0						

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	農業委員会事務局の運営に関する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	6	1	1	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業委員会事務局			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	佐山 佳明			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	農業委員と農地利用最適化推進委員が共同して取り組むことで、農地の利用最適化のさらなる推進を図る。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	7月に改選を迎えることから、新たな体制に向けた引継ぎの円滑化と速やかな業務認識の共有化に取り組む。
②①に基づく取組み結果	令和元年度までの目標を定めた活動結果・検証評価の実施		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	農地法等に基づく業務を円滑に運営するための活動	意図(対象をどうするのか)	農業委員会事務の点検及び検証の実施
②事務事業の概要	農地法、農業経営基盤強化促進法、農業委員会に関する法律に基づく農業委員会業務を円滑に運営する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	都市化に伴う農地の宅地化等により営農環境が悪化し、農業経営が厳しい状況の中、農業従事者の高齢化及び担い手不足により農地の遊休化が懸念される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	食糧自給率の向上のための優良農地の確保と有効利用、担い手の育成及び確保、農地利用集積の斡旋を行い、一団化した農地への誘導に努めた。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 農業委員活動日数	333	419	352	日 活動記録簿
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	10,452	10,353	金額(千円)	内容	11,152
国支出金(千円)			5,766	農業委員会委員報酬	
県支出金(千円)	1,246	1,229	2,820	農地利用最適化推進委員報酬	1,216
市債その他(千円)	366	357			342
一般財源(千円)	8,840	8,767			9,594

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	農業委員及び農地利用最適化推進委員が、共通の認識を持ち、連携して取り組む必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	より効果的な農業委員会業務の運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30⇒R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	令和2年度への繰越額(単位:千円)				